

年々不同、御地はいつも唐綾なり、

〔萬天日錄〕寛文改 年中行事下附天和二年追加

表出御ノ時御支度ノ覺 一正月元日二日、緋御裝束也、御太刀御劔御役如例、一同三日、無官之

衆依御禮、御長袴也、一同夜御謠初右同斷、一同六日、増上寺方丈御禮、緋御裝束ナリ、一公家

衆、御門跡方參向御對顔之時分、勅答院答被仰出時、緋御裝束、同御馳走御能之時、御熨斗目御長袴

也、○中略

諸大名年中出仕著服之制

一正月元日二日、大納言宰相、中少將侍從、四品諸大夫、大紋布衣、一同三日、無官幼童、熨斗目長袴

也、一同夜御謠初出仕、熨斗目長袴也、○中略 一同十五日、年首拜領ノ熨斗目著之、半上下也、

〔官中秘策〕年十五年中行事、正月元日卯中刻、百官總登城、一少將以上、白小袖、綾平絹直垂、一侍從、白小

袖、直垂、一四品、白小袖、狩衣、一諸大夫、熨斗目直垂、大紋一諸役人のしめ、布衣、一無官、熨斗目、素

襖長袴、

〔要篋辨志〕年一年中行事、正月二日

一喜連川、無官ニ而四品末ニ列候、素袍、侍烏帽子、紫系組掛紐也、

一今大路半井兩典藥頭者、白無垢ニ直垂ヲ著ス、烏帽子者掛紐紙より也、但兩醫元旦御禮也

年始に付、諸家供方良衣服之事、

年始十五日迄、國持御連枝方年始、七種迄外様衆、帝鑑間年始、三箇日雁ノ間、菊ノ間、其外御役人衆、

右上下著、熨斗目ハ元日計、御譜代雁ノ間等ニ而爲著候、尤家ニ依而、三箇日駕脇ニ爲著候事も有、

〔享保集成絲綸錄〕十六正徳元卯年十二月 一正月朔日二日之御禮、六日寺社御禮之節、諸大夫之面々、向後狩衣著用可被仕事、